

		科目コード	209
科目名	成熟期・慢性看護学特論Ⅰ (Advanced Study on Chronic Nursing for Adults and Aged I)	選択区分	選択
単位数(時間)	2単位(30時間)	履修時期	1前
担当者	中西 純子・島田 美鈴・田中 昭子・松井 美由紀		
授業概要	糖尿病や脳卒中後遺症、認知症を抱える人に代表されるような慢性的な経過をたどる成熟期(成人期・老年期)の人とその家族が抱える課題を捉えるための重要概念や理論を理解し、臨床経験に照らして討論することで理解を深めていく。授業は担当者によるプレゼンテーションを中心に進めていく。		
授業目標	慢性病とともに生きる成熟期(成人期・老年期)の人とその家族について理解を深める。 1. 慢性性の概念、慢性看護の動向について説明できる。 2. 慢性病患者とその家族を理解するためにどのような諸概念、理論があるか説明することができる。 3. 概念や理論を現象に照らして慢性病患者の特性を説明することができる。		

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者
1	慢性の概念	慢性性とは、急性と慢性の違い、慢性疾患・慢性期医療の動向と課題	中西純子 島田美鈴 田中昭子 松井美由紀
2	慢性病患者の特性	慢性疾患とともに生きる人の身体的・心理的・社会的課題	
3	主要概念・理論の概観	慢性病患者の特性を理解する主要概念・理論の概観と理論の学び方	
4	主要概念・理論①	コンプライアンス/アドヒアランス	
5	主要概念・理論②	不確かさ、無力感	
6	主要概念・理論②	〃	
7	主要概念・理論③	病みの軌跡	
8	主要概念・理論③	〃	
9	主要概念・理論④	ストレス理論	
10	主要概念・理論⑤	危機理論	
11	主要概念・理論⑥	病気の受容、障害受容	
12	主要概念・理論⑥	〃	
13	現象の読み取り	課題図書(闘病記)についてどのような読み取りができるか討論する	
14	現象の読み取り	〃	
15	高齢の慢性病患者	慢性病とともに生きる高齢者と家族の課題を理解する	
成績評価方法		担当プレゼンテーションの内容(50%)、毎回の討論の内容(50%)	
必携あるいは参考図書・文献		参考図書：①A. M. Lubkin & P. D. Larsen : CHRONIC ILLNESS 5 <sup>th</sup> ed. 黒江ゆり子監訳：クロニクイルネス、医学書院 ②A. L. Strauss et al: CHRONIC ILLNESS and the Quality of Life 2 <sup>th</sup> ed. 南裕子監訳：慢性疾患を生きる一ケアとクオリティ・ライフの接点、医学書院③A. Kleinman: THE ILLNESS NARRATIVES, 江口重幸他訳：病の語り、誠信書房	
備 考		授業は2回続きで行いますが、順序は変更になる可能性があります。課題図書は授業内で提示します。	